



WEEKLY REPORT

2009-2010 No.16 2009年10月29日

会長◆臼井 浩 会長エレクト◆矢部房男 副会長◆ 船津孝次郎 藤吉一哉
 幹事◆山本由夫 SAA◆矢部光治 会計◆市川 浩 ◇広報委員長：石田 隆
 E-mail: zushirc@sage.ocn.ne.jp Website: http://www.zushi-rc.com/

例会日：第1・2・4木曜日 12:30~13:30 第3木曜日 18:30~. 第5木曜日 18:00~

例会場：逗子市新宿 1-3-35「カンティーナ」 TEL：046-870-6440

事務所：逗子市逗子 1-9-26 萬屋ビル 2F TEL&FAX：046-873-0226

本日の進行(18:00)

松本 宏美氏(神奈川県保証協会)

「信用保証制度の仕組み」

一次回は **カンティーナ** にてー

11月5日(木)(12:30)

平井 竜一 逗子市長

「逗子市政について」

《 第 2320 回 例会記録 2009年10月22日 》

出席報告	会員数 38 名 (出席免除 6 名) 出席数 19 名 出席率 59.36% 前回修正出席率 87.88%
ゲスト	ブンラップ ナリサラさん (米山奨学生・タイ・東海大学生)
	小島皓史君 (地区米山奨学副委員長)

■ 会長の時間 臼井 浩 会長



18日(日)の市民祭りは 20 名と大変多くの参加を頂きまして有難うございました。天候にも恵まれ、お陰様で無事終了致しました。桐田さん、長野さん等かつてのアクティブメンバーが抜けられたので心配しておりましたが、三宅社会奉仕委員長、山本幹事をはじめ新たに河野さん、高洲さんが加わってご活躍頂き、また岩瀬さんからお借りした機械もほぼ順調で、綿あめの作業はうまく進められました。

特に、桐ヶ谷さんは先頭に立って麻薬撲滅のパンフレットを配布して頂くなど、それぞれの皆さまのご活躍に感謝いたします。おかげさまで寄付金は 8 万余 集まりました。次回理事会に諮り集まった浄財の使用方法を決める予定です。ご協力ありがとうございました。

さて、ロータリーでは、毎年10月を「米山月間」と

定めております。クラブはこの月に、米山奨学事業の意義を深く認識し寄付金を募る活動を行う事になっております。

ご承知のとおり米山奨学制度は、日本に初めてロータリーを導入した米山梅吉氏の記念事業で、日本以外の国籍をもつ外国人の方で、日本の大学、大学院または研究機関等に留学または研究のために在籍する方々が国際理解と親善に寄与することを目的とした**日本独自の国際奨学制度**です。奨学生一人一人に世話クラブおよびカウンセラーを定め、相談相手になっているのが特色です。本日もお越し頂いた奨学生ブンラップ・ナリサラさんの世話クラブは鎌倉大船RCです。後ほどよろしく願いいたします。

なお、先日の地区大会で逗子ロータリークラブは財団(5位)及び米山記念奨学会(2位) 寄付優秀クラブの表彰を受け、盾を頂いておりますので合わせてご紹介いたします。

■ 報告

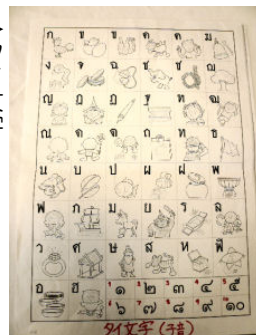
山本幹事 *週報：鎌倉大船 RC *11月ロータリーレート1ドル90円

*イターアト一泊研修 2010年3月27~28日於：厚木市立七沢自然ふれあいセンター *第2G 会長幹事会 11/17(火)18:30

地区大会長寿会員表彰
(満八五才以上)桐ヶ谷会員



→ タイ文字
米山奨学 地区小島副委員長
とナリサラさん ←



ロータリー米山奨学生 ナリサラさんの 卓話



ブンラープ ナリサラさん(タイ) 東海大学大学院文学研究科 日本文学専攻

【留学の経緯】

高校生の時に1年間ほど日本に留学、帰国した後も、引き続き日本語の勉強を続けたいと思い、タイ

のチュラロンコン大学の文学部日本語専攻に入学、授業を受ける他に、日本人にタイ語を教える、又はタイ人に日本語を教える家庭教師、日タイ翻訳などのアルバイトを通して、日本語の能力にも、日本人との接触にもだいぶ自信が持てるようになりました。

大学卒業後、日タイ通訳者となりましたが、会議での聞き取りや、通訳が十分に出来ない時も多く、自分の日本語能力に失望して、屈辱感を味わったこともあり、もう一度日本に留学し、努力を重ねて十分な日本語力を身に付けたいと思いました。

将来はタイで日本語の教師になって、日本での経験を生かし生徒たちに日本への関心を引き起こすような授業をして、私に続く学生を育て、日本とタイの交流関係をもっと深めていきたい。また、苦勞した経験を基に、日本に興味を持つタイの人たちの参考になる一般書をたくさん書き残したい。

奨学金を頂くようになってからは、アルバイトの量を

減らすことで勉強に費やす時間が増え、お陰ですばらしい成績を得ることが出来ました。自由な時間も少し出来て、日本の観光名所に行けるチャンスを得、奨学金を頂くだけではなく、ロータリアンの方と交流するチャンスができ、とても嬉しいです。

タイにはもともと、『人に功德をつめば自分も幸せになる』という仏教の教えがあります。日本に来てプレッシャーの中では、自分のことだけ考えるのが精一杯でした。奨学金を頂いて、ロータリーの方々と活動させて頂くことにより、功德ができるようになると思います。

【タイ人の マイ ペン ライ】

タイの3つの季節は、『Hot Hotter そして Hottest』地震も、台風も、ほとんど無い国で、年中一定の気温を保ち、果実や農作物は順調に育てられます。このような恵まれた環境に育ったタイの人達の基本的な考えは、「サヌック」という言葉で表せます。日本語では『楽しい』という意味です。大丈夫、気にしない、しょうがない、何とかなるさ、心配ない、と複数の意味合いがあり、都合の悪いことは全部「マイ ペン ライ」。

タイの季節は一年中楽しむことが出来ますから、ご都合の良い時にいつでも、是非タイへいらして下さい。優しいガイドの私、ナリサラがご案内します。

■ ニコニコBOX (31,000円)

小島皓史地区米山奨学副委員長…本日は米山月間ということでタイからの奨学生ブンラープ・ナリサラさんに同行して参りました。よろしく。

臼井君…ナリサラさん、小島さん、ようこそ。

船津君、山本(由)君、山口君、横山君、坂井君…ナリサラさんスピーチよろしくお願ひします。

松井君…米山奨学生ナリサラさん、スピーチよろしくお願ひします。鎌倉中央RC小島さんようこそ!

矢部(房)君、松田君…ナリサラさんをお迎えして。

渡邊君…ブンラープ・ナリサラさん WELCOME。

三宅君、藤吉君…市民まつりご苦勞様、お疲れ様でした。

福嶋君…本日、矢部SAAの代理です。

桐ヶ谷君…地区大会で長寿会員の表彰を頂きました。

石黒君…80才の誕生祝いを頂きました。

鈴木(安)君…毎日酒づけ、今日ぐらい休肝日にしよう。

ニコニコBOX 本日合計 ￥ 31,000

累計 ￥ 603,000

コラム

今回の例会スピーチは米山奨学生ブンラープ ナリサラさんの体験記だった。私は留学の経験はないが、身近に兄が米国留学をしているのでその体験談を載せることにした。

彼は1950年代に米国に渡った。彼は大学卒業後物理学科の研究室で、無給で赤外線分光の研究をしていた。大学の教授が同情してくれて「日本にいては、うだつが上がらない、アメリカで勉強してこい」といわれ、留学の手筈をとってくれた。

アメリカではメリーランド州ボルチモアにあるジョンホプキンス大学大学院に奨学生として入学、ドクターコースを修了、博士号を得た。入学時の自己紹介で「日本はアメリカに戦争で負けたが、その原因は科学知識の遅れだった。アメリカに負けない科学知識を学ぶ為にこの大学に来た」と大見栄を切ったところ、予想外に大喝采を受けたという。そのお陰かどうかわからないが、アメリカ空軍の基礎化学研究所からスカウトされ研究員となって働いた。研究の内容は聞いていないが、彼の話では兵器に直接関与したわけではなく物理学の基礎研究だという。しかし、米国空軍に何らかの貢献があったらしく合衆国から褒賞を受けたと言っていた。

彼は、日本に帰国するために日本の各大学に就職活動を試みたが、当時の物理学会は反戦思想が強く、軍事研究をした者というレッテルを張られ、受け入れられなかった。その後、北海道大学(彼の出身大学)と縁があるクラーク博士の母校マサチューセッツ州立大学の教授に迎えられ、現役を退いた今も終身教授としてマサチューセッツ州アマーストで生活している。